

令和6年実施 町政懇談会の記録（06学校）

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
上高柳	5月27日	06学校	部活動	中学校の愛護の役をしているが、部活動等で活用する後援会費を各家庭から集める作業が保護者の大きな負担となっている。負担を減らすために補助金を出してもらうなど、対策を考えてもらえないか。	学校教育課	部活動の費用は受益者負担が原則であるが、部活動で県大会等に出場すると、町から交通費の半分が補助され、他市町と引けを取らない程度の支援はしている。後援会費は学校というより昔からの地域で子ども達を支えようという取組が残っているものでできれば続けてもらいたい。保護者の負担が大きくなっているとのことであるが、できる範囲でという形というのが現状かと思う。町としてできることがあるかどうか検討はしたい。
昌農内	5月30日	06学校	岡田小学校体育館	学校体育館を使わせてもらっているが、岡田小学校体育館が滑って危ないので、ワックスがけをお願いしたい。	学校教育課	状況を確認し、後日回答する。 学校では、各学校の判断で年に一回程度ワックスがけを行っている。今回の意見について岡田小学校に伝えて、ワックスがけをしていただくよう依頼した。
恵久美	6月3日	06学校	部活動の地域移行	部活動の地域移行の状況は。	社会教育課 学校教育課	部活動の地域移行については、地域の受け皿の確保が課題となっているが、引き続き受け皿の確保に努めるとともに、部員が少なく部活動の存続が困難な部においては、町内の他の学校と合同で活動できる、「合同部活動」という方向で検討しているところである。
神崎	6月4日	06学校	オンライン授業	学校でのオンライン授業（特に休んでいる時期）の実施、タブレットの有効活用はどうなっているのか。	学校教育課	タブレットは以前より授業に浸透しているが、教員によって差があるのが現状である。また、教員と児童がやりとりできるオンライン授業ができるほどの設備が整っておらず授業送信をする程度である。不登校の児童が別室にいられば別室に授業の様子を配信しており、今後も不登校児童の居場所づくりにはオンラインを含めた取組をしていきたい。タブレットの持ち帰りについては、各学校が年度初めにプリントを配布して保護者の許可を得て持ち帰れるようにしている。基本的には子どもが使用しているため、タブレットを保護者との連絡には活用しづらい。一方で、インフルエンザ等学級閉鎖など長期休暇時には子どもの健康管理に活用できた。今後、学校と保護者のやり取りをスマホを使ってできるように検討していきたい。 P T AからP Cが家にある場合は持ち帰らないように要望した経緯もある。授業支援アプリロイノートを利用すれば家のPCから接続が可能でありタブレットを持ち帰らなくても学習は可能である。
横田	11月13日	06学校	給食の地産地消	松前町の給食での地産地消の取組は。	学校教育課	地産地消のために地元産のものをできるだけ使うようにしており、更に進めていきたいと考えている。米については、給食センターに炊飯設備がなく、ライスセンターから仕入れるしかないが、炊飯設備の設置など松前町産の米を使用できないか研究していきたい。